

平成29年11月9日

保護者の皆様

北海道網走桂陽高等学校長 勝 木 祐 一

## 検定試験実施時における緊急時の対応について（お知らせ）

冷雨の候 保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。さて、先月Jアラート（全国瞬時警報システム）による情報提供があった際の本校の対応についてお知らせいたしました。公益財団法人全国商業高等学校協会より全商主催の各種検定試験は生徒の進路に多大な影響を及ぼす可能性があるため、受験生徒の利益にならないよう改めて適切に対応するようとの通知がありました。

つきましては、Jアラート（全国瞬時警報システム）による情報提供及び冬期間の暴風雪等の災害があった際は、次のように対応してまいりますので、ご承知おきください。

記

### 1 登校前や家庭等で警報を聞いたとき（在宅中の場合）

- (1) 屋内避難の呼びかけがあった場合、登校を見合わせ、続報を待つ。
- (2) 公共交通機関の運行状況を確認し、「運転見合わせ」等の場合は、登校しない。
- (3) 安全が確保・確認できない場合は、登校しない。
- (4) 実施の可否および検定開始時間の繰り下げ等については、学校のホームページや連絡網等を使って行う。

### 2 学校で警報を聞いたとき

- (1) 校内教室等では、爆風等による窓ガラスの飛散から身を守るため、机の下に隠れ、生徒の身の安全を第一に守るように指示する。
- (2) 安全が確認されるまでは学校に留め、下校時の安全を確認した後、家庭への連絡がとれた生徒から下校させる。
- (3) 検定試験開始後の場合は、安全を確認した後に試験を継続して実施し、避難行動等によって生じた時間については、それに相当する分の時間を延長する。

### 3 登下校中など屋外で警報を聞いたとき

- (1) 最寄りのできる限り頑丈な建物や地下などに避難する
- (2) 近くに建物がない場合は、物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。

緊急時の対応により、検定試験が中止または受験できなかった場合の対応につきましては、各主催団体の取り決めを準用し、対応させていただきます。

検定試験の多くは、その公平・公正性を保つ観点から実施日の変更を認めておりません。また、受験料の取扱いつきましても主催団体により対応が異なります。各主催団体の対応については、申込みや検定指導の中で周知を図ってまいりますので、ご確認ください。